

2012年度研究部会活動記録

部会主任名	佐藤 正志	現代政治経済研究所
研究課題 ：現代政治思想における政治的諸概念についての研究		
月/日	活 動 記 録	
2012年	初期近代から現代までの政治的諸概念の形成と変容を、深層において作動する基底の諸概念から照射しながら、ナショナルおよびトランス・ナショナルな文脈で明らかにする作業を続けるとともに、これまでの研究成果を現代イギリス政治思想における政治概念の研究として、現代政治経済研究所研究叢書としてとりまとめた。	
6/23	研究会（大学院政治学研究科政治思想研究領域博士課程合同研究指導を兼ねる） 於；9号館5階 大会議室 報告者と論題 - 須賀麻衣（早稲田大学政治学研究科博士課程） 「プラトン政治哲学における詩の役割」 コメンテーター：兼利 琢也（跡見学園女子大学講師） - 森 達也（聖心女子大学非常勤講師） 「現代英国政治思想における自由論の諸相」 コメンテーター：山岡 龍一（放送大学教授）	
7/14	合評会 於；現代政治経済研究所会議室 加藤哲理『ハンス＝ゲオルグ・ガーダマーの政治哲学－ 解釈学的政治理論の地平』（創文社、2012年）をめぐって 発表者：加藤哲理（京都大学大学院法学研究科講師） コメンテーター：高田宏史（早稲田大学政治経済学術院助教） 司 会：山田正行（東海大学政治経済学部教授）	
7/21	合評会 於：早稲田大学現代政治経済研究所会議室 松本礼二『トクヴィルで考える』（みすず書房、2011）と高山裕二『トクヴィルの憂鬱』（白水社、2011）をめぐって 講師 松本礼二（早稲田大学） 高山裕二（学術振興会特別研究員） コメンテーター	

	飯島昇藏（早稲田大学） 齋藤純一（早稲田大学）
12/14	研究会（大学院政治学研究科政治思想研究領域博士課程合同研究指導を兼ねる） 於；9号館5階 大会議室 報告者と論題 1. 武田菜穂子（早稲田大学大学院政治学研究科博士課程） “Ontology in the Political Theory of William E. Connolly: with a Focus on the Conception of Time” コメンテーター：齋藤純一（早稲田大学） 2. 鈴木将頼（早稲田大学大学院政治学研究科博士課程） 「ゲルツェン『学問におけるディレタンティズム』」 コメンテーター：長縄光男（横浜国立大学名誉教授）
2013年 3/31	早稲田大学現代政治経済研究所研究叢書38の刊行 佐藤正志、ポール・ケリー編 『多元主義と多文化主義の間 - 現代イギリス政治思想史研究』 序 / 佐藤正志（早稲田大学政治経済学術院教授） プロローグ. 多元主義への多元的な道 / ロドニー・バーカー（LSE教授）、的射場 瑞樹（東京海洋大学講師）訳 I イデオロギーの再解釈 第1章 ニューリベラリズム—有機的社会論に基づく社会「統合」の構想 / 寺尾範野 （カーディフ大学博士課程）・馬路智仁（ケンブリッジ大学博士課程） 第2章 イギリス社会主義—二〇世紀における諸潮流とその未来 / サイモン・グリフ イス（ゴールドスミス、ロンドン大学講師）、馬路智仁訳 第3章 保守主義—複雑な社会を統治する / 中金聡（国士舘大学教授） II 社会構造の転換と政治概念 第4章 圧力団体—戦後イギリス政治と新しい集団政治の変容 / 井上弘貴（神戸大学 准教授） 第5章 福祉—「ベヴァリッジ」の政治的諸文脈 / 山本卓（法政大学准教授） III 新たな政治理論を求めて 第6章 シティズンシップ—B・クリックの「能動的シティズンシップ」論の文脈 / 平石耕（成蹊大学准教授） 第7章 政治的自由—概念の「イギリス的」文脈をめぐって / 森達也（早稲田大学講 師） エピローグ イギリス政治理論における多文化主義の再検討 / ポール・ケリー （LSE教授）、高山裕二（日本学術振興会特別研究員）訳 補論 多文化主義とネーション—カナダにおける多文化主義を通じた政治統合の考察 / 石川涼子（早稲田大学政治経済学術院専任講師）

終了の場合	研究成果刊行の時期：2013年3月 研究成果の公開方法：現代政治経済研究所研究叢書での刊行
-------	--